

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習	
科 目 名		急性期と周術期の看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員		今若広之 他	実務経験と その関連資格	総合病院で看護師として勤務			
《授業科目における学習内容》 急性期看護の特徴、周手術期にある各期の人々の身体的・心理的・社会的特徴や、家族を含めた健康課題・ニーズ、手術侵襲による生体反応と術後合併症などの心身への影響のアセスメント方法について理解を深める。 周手術期過程(術前・術中・術後)に必要な看護実践の基盤となる知識や技術により、各疾患・手術に特徴的な看護について学ぶ							
《成績評価の方法と基準》 筆記試験・出席状況並びにグループワーク発表・事前課題レポート、課題提出状況にて総合的に判断する							
《使用教材(教科書)及び参考図書》 系統看護学講座基礎看護学 臨床看護総論 医学書院 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 系統看護学講座 別巻 臨床看護各論 医学書院 よくわかる周手術期看護 Gakken 周術期看護 学習ワークブック メヂカルフレンド社							
《授業外における学習方法》 ・事前課題、課題レポート 授業の振り返りをまとめる							
《履修に当たっての留意点》 ・事前課題、課題レポート 授業の振り返りをまとめてグループワークができるようにしておくこと							
授業の方法			内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性期・周術期の特徴について説明することができる		テキスト 配布資料 AV機器	事前課題に取り組む 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	急性期看護の特徴（急性期の患者と家族に対する看護） 周術期看護の概論				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	術前の看護について説明することができる		テキスト 配布資料 AV機器	事前課題に取り組む 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	手術前患者の看護				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	術中・術後の看護について説明することができる		テキスト 配布資料 AV機器	事前課題に取り組む 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	手術中患者の看護 手術後患者の看護				
第4回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	集中治療を受ける対象者への看護について説明することができる		テキスト 配布資料 AV機器	事前課題に取り組む 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	集中治療を受ける対象者への看護(高齢者・小児含む) 集中治療とは 集中治療を受ける対象者とその家族への援助				
第5回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	手術を受ける高齢者の看護について事例展開ができる		テキスト 配布資料 AV機器	グループワークができる ように資料をまとめる	
		各コマにおける授業予定	手術を受ける高齢者の看護 事例展開 ※グループワーク				
授業の方法			内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	

第6回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	手術を受ける小児の看護と家族支援について 事例展開ができる	テキスト 配布資料 AV機器	グループワークができるように資料をまとめる
	各コマにおける授業予定		手術を受ける小児の看護と家族支援 事例展開 ※グループワーク		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	手術を受ける小児の看護と家族支援について 事例展開ができる	テキスト 配布資料 AV機器	グループワークができるように資料をまとめる
	各コマにおける授業予定		手術を受ける小児の看護と家族支援 事例展開 ※グループワーク		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	帝王切開を受ける産婦の看護の事例展開ができる	テキスト 配布資料 AV機器	グループワークができるように資料をまとめる
	各コマにおける授業予定		帝王切開を受ける産婦の看護 事例展開		